

しおさいかわら版

変わりゆく小名浜

〜まちもりシオカゼ〜

13



2月末のリノベーション物件外観

詳しくは以下にお問い合わせください。

問合せ先：電話：0246-92-2555 (有) アクティブ 馬
電話：0246-92-2211 (株) 松屋不動産 上
Mail：machimori.shiokaze@gmail.com 作山

榊まちもりシオカゼでは、汐風竹町通りの中心にある空き店舗のリノベーションを着々と進めています。二階建ての一階は、約73㎡(22坪)の広さのある「まちに開かれたカフェ」をつくりたい。小名浜地区の課題を解決でき、エリアの価値を高める最初のキッカケとなることのできるお店にしたいと考えています。自分がやりたい商売をすることで、小名浜地区の課題を解決し、エリアの価値を高め、そして小名浜をもっと大好きなまちにしたい。そんな熱意のある「まちのプレーヤー」(カフェを企画運営する人)を募集しています。まちもりシオカゼと一緒に小名浜を変えていきませんか。



2月全体会議

2月22日、まちづくりステーション小名浜3階にて市民会議の2月全体会議が開催されました。2月の全体会議は、国土交通省東北地方整備局小名浜港湾事務所の佐藤義貴企画調整課長をお招きし、国交省が進める港湾の中期政策「PORT2030」の中間とりまとめについて講演いただきました。

2月22日、まちづくりステーション小名浜3階にて市民会議の2月全体会議が開催されました。2月の全体会議は、国土交通省東北地方整備局小名浜港湾事務所の佐藤義貴企画調整課長をお招きし、国交省が進める港湾の中期政策「PORT2030」の中間とりまとめについて講演いただきました。

「PORT2030」の構成と方向性について、分かりやすく解説をしていただきました。日本の港湾を取り巻く環境、情勢はここ10年で大きく変わりましたが、更に今後の10年でその変化は速度をますます速めていくでしょう。日本の生産拠点は既に中国から東南アジアへシフトしつつありますが、これがより南下することが予想されます。中国やインドが国際海上輸送網を強化しコンテナ船寄港地が集約化される中、日本直航便は減少傾向にあり、貨物のリードタイムは増加しています。そして伸びゆくクルーズ需要にも対応が必要で、国内人口は減少に転じ、貨物物流を担うトラックドライバースも供給不足となります。人工知能による第4

しい題目でしたが、佐藤課長は、これまでの港湾政策の変遷に触れた後、最新の統計データをもとに2030年までに直面する様々な課題を挙げ、その対応策となる「PORT2030」の構成と方向性について、分かりやすく解説をしていただきました。

次産業革命の進展もあり、港湾における自動化・遠隔操作化は進んでいます。荷主との情報のやりとり等外部情報の取り込みが不十分で物流全体の効率化には至っていません。シエールガス革命に伴いLNG(液化天然ガス)の輸入が増え、世界最大の輸入国としてLNGのハブ拠点を目指す一方、パリ協定による温室効果ガス排出削減にも取り組む必要があります。増加する自然災害に対する備え、老朽化する港湾施設の刷新も求められています。

化される中、日本直航便は減少傾向にあり、貨物のリードタイムは増加しています。そして伸びゆくクルーズ需要にも対応が必要で、国内人口は減少に転じ、貨物物流を担うトラックドライバースも供給不足となります。人工知能による第4

新たな価値を創造する空間として第4次産業革命を先導するプラットフォームとしての港湾(Port)の姿。国際海上輸送網の構築、持続可能で価値創造的な物流体系の構築、列島クルーズアイランド化、ブランド価値を生む空間形成、新資源受入・供給の拠点形成、港湾・物流活動のグリーン化情報通信技術を活用した港湾のスマート化、港湾建設・維持技術の変革という8本柱をもとに、2030年頃の将来を見据え、日本の発展のために港湾が果たすべき役割についてまとめられているとの説明がありました。

ご講演いただいた佐藤義貴企画調整課長



小名浜まちづくり市民会議会員の皆様へ
全体会議開催のお知らせ

3月23日午後6時30分より、まちづくりステーション小名浜3階において、3月全体会議を開催します。今回はいわき市役所総合政策部創生推進課課長津田一浩氏を招き、「スポーツを軸にしたまちづくり」についてお話しいただきます。会員の皆様はお誘い合わせの上、是非ご参加ください。

http://www.mlit.go.jp/repot/press/port03_hh_000037.html

世界水族館会議

世界水族館会議

(International Aquarium Congress) は、11月5日から10日に開催されます。会議会場は小名浜魚市場になります。今までの会議はコンベンションホールなどで行われてきましたが、魚市場というのは水族館関係者の会議にふさわしい会場でしょう。その代わりにすべてのものを持ち込んで会場を作らなくては行けないので、準備は若干煩雑になりますが、他にはない個性的な会議にするために事務局一同頑張っています。

会議では水族館関係の企業やNGOなどの展示もあります。こちらの会場はアクアマリンパークの潮目交流館を使用します。40程度のブースを用意して、様々な展示が行われます。会議の参加は登録をした方のみが入場できますが、展示については一般の方も自由に参加できます。魚の飼育や自然保全の活動などに興味のある方には是非とも見に来ていただきたいと思っています。



▶前回大会での展示の様子



▶会議会場となる小名浜魚市場

info 3月の行事予定 小名浜まちづくり市民会議に関する行事

- 3/2 テオ・ヤンセン展 in ふくしま 2018 歓迎レセプション
- 3/10 いわき市観光セミナー
- 3/11 おなほまマルシェ
- 3/12 いわき市リノベーションまちづくりセミナー
- 3/13 パートナーシップ委員会
- 3/16 いわき小名浜みなのアセス連絡協議会
- 3/15 歴史と文化づくり委員会
- 3/28 リノベーション委員会

3月に入り、春めいた陽気を感じるようになるといわき花火大会の準備に加速度的に進みます。すでに昨年の内に準備は始まっているのですが、4月には開催に向けた総会が開催され、今年度の概要が決定します。

今年の第65回いわき花火大会は港湾エリアの整備がほぼ完了し、イオンモールの開業と相まって



めがかりの囁き

装いを新たにしたい大会になりそうです。

例年以上の来場者が予想され、交通課題への対応や熱中症対策、大会運営費のバランス化等、実行委員会の知恵と工夫が求められそうです。また、周囲の方々、関係各機関の皆様方のご協力なしに成功へ導くことは難しく、例年以上のご理解とご協力をお願いさせて頂く大会になりそうです。

(著:F.O)



テオ・ヤンセン展 in ふくしま 2018

「ストランドビースト」(プラスチックチューブやペットボトルで構成され、風力によって生物のように動きます)を製作する世界的に注目されたアーティストで、その作品の数々がアクアマリン館内に展示されています。

同展は国内では6回目、東北では初めての開催。「海

と自然との共生」をテーマに作品を紹介し、来場者が故郷や地域社会の未来について考えるきっかけを作るとともに、被災地である福島・いわきの現在の姿復興への想いを世界に発信することを目的としています。

開催期間は3月3日から5月6日まで。期間中はストランドビーストのミニチュアを組み立てるワークショップも予定されています。

※展示の観覧にはアクアマリンふくしまの入館料が必要です。



QRコードから動画が見れます

小名浜まちづくり市民会議とは...

小名浜に住む人、小名浜を心から愛する人、小名浜を輝かせたいと思っている人々が集まり、関係機関・団体と協働で小名浜のまちづくりを進めている団体です。

随時FBに活動状況をアップしています。見つけなれば、いいね！してください。

会員募集

小名浜まちづくり市民会議では随時、会員募集しています。学生さんも、働くお父さんも、子育てに励むお母さんも、年齢は問いません。皆さんと一緒に素敵な未来の小名浜を創りませんか？

年会費 個人会員：3000円 企業会員：20,000円 団体会員：12,000円

お問い合わせ・お申し込み：いわき市小名浜字本まち 11-1 (まちづくりステーション小名浜)
TEL：52-1275 FAX：52-1415
http://www.onahama.jp/ E-mail：info@onahama.jp



©小名浜まちづくり市民会議 / 福島ガイナックス